

第05回

- 講演者：市村 文男 氏（茨城大学理学部）
 - 題目□Hilbert-Speiser Number Fields and Stickelberger Ideals
 - 日時：平成20年10月17日(金) 16:30～17:30

HilbertとSpeiserによって、有理数体 \mathbb{Q} 上のtameなアーベル拡大は正規整数底を持つことが知られています。この定理の周辺（の一部）についてお話しします。具体的には次の2つについてです。以下□ p は固定した素数を表すものとします。

- (1) 基礎体を \mathbb{Q} 以外のものにしたらこのようなことが成立するかという問題に対して、1999年にGreither達が否定的な解答を与えました。では p -整数環についてはどうなるかという問題について。
- □□Kummerによって□Stickelberger idealが p 分体のイデアル類群を消すことが知られていますが□Hilbertは上記定理を用いてこの事実の別証明を与えました。このHilbertの議論をできるだけ一般化すること。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

15 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2008/005>

Last update: **2017/11/17 14:25**

